

「ツェルトの張り方」ビバーク講習会に参加して

ハイジアルペンクラブ 大塚貴子

お守り代わりにツェルトをいつも持って歩いてはいたものの、はたしていざという時に使えるのか、実際に使ってみるとどんな状況なのか等々、不安に思い続けていて、なにかあったらくまって過ごすか...とっていました。いつか機会があったら実際にちゃんと山で張ってみたいと思っていた矢先に、今回の講習会のお知らせが届き、参加させていただ



いただきました。講師の方々が色々な張り方を実際に見せてくださると、なるほど...となんとなくイメージできたので、自分でも張れそうな気がしたのですが...実際に森の中に入り、快適に休めそうな場所を探してみると、支えになる木はたくさんあるのに、ここ！というよさそうな平らな場所がなかなか見つからない。そして、目に焼き付けたはずの講師の方々の張り方をやってみると、うまくテンショ

ンがかからず、なんか違う...ロープの結び方も...、あれ？やっぱり見るのと、やるのとでは大きな違いがありました。

実技の時間中、ひとつひとつ一緒に張りながら丁寧に教えていただき、なんとか自分の持っている装備を使って張ることができました。講師の方が道々拾って集めてくれたペグ代わりに木の枝が思った以上に効果を発揮するというのも体験でき、大きな収穫だったように思います。実際に張り終えたツェルトの中に入ってみると、寝るのには十分な空間が確保でき、さらに傘やストックを使えば快適性も求めることができるということが実感できました。場合によってはテント代わりに十分使えそうだとすることも感じ、山行形態の可能性も広がったように思います。

実際にビバークが必要な状況に遭遇してしまったら、こんなに冷静ではいられないであろうし、条件ももっと厳しいものになるのでこんなにうまくはいかないとは思いますが、とりあえず、自分の持っているものでこれだけのことができるぞということが体験できたのはとても大きなことで、お守りが立派な山のツールになったように思います。今度は一度実際にツェルトを張って泊まってみなくては...

ツェルトを実際に張ったことのないメンバーがほとんどだった中、ひとつひとつ丁寧に教えてくださった講師の方々、準備を進めてリードしてくださった女性委員の皆様、こういう機会をもうけて下さり、ありがとうございました。

おかげさまであっという間に時間が過ぎ、充実した講習となりました。ここで得たものを忘れないようにしなければ...(^_^)